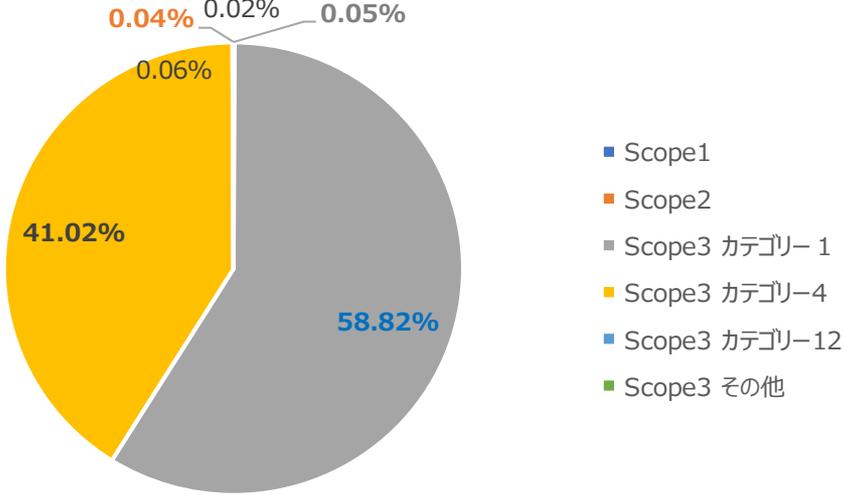


# 株式会社ベネッセコーポレーション

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業種：教育関連、出版</li> <li>● 事業概要：幼児～高校生向け通信教育、学校向け教育事業、学習塾、英語教室、海外教育事業ならびに通販等</li> </ul>
2.削減目標案 ※定量値公表が難しい場合、定性的説明でも可	<p>&lt;Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み&gt;            目標：2030年度に2013年度比で31%削減            自社ならびにサプライヤーとの連携による省エネへの取り組みの強化と電力の再エネ化を推進していく計画。</p> <p>&lt;Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み&gt;            目標：2030年度に2013年比で31%削減            GHG主要排出源である「紙」の使用量を教材のタブレット化と主要営業ツールのDMのWEB化による紙使用そのものの削減に加えてサプライヤーとの連携により、製造・運輸の段階における排出量の削減に取り組んでいく計画。</p>

# 株式会社ベネッセコーポレーション

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Scope 1・2・3の排出量の状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE1 : 11,025tCO<sub>2</sub></li> </ul>
	 <p>Legend:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ Scope1</li> <li>■ Scope2</li> <li>■ Scope3 カテゴリー 1</li> <li>■ Scope3 カテゴリー4</li> <li>■ Scope3 カテゴリー12</li> <li>■ Scope3 その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE2 : 9,352tCO<sub>2</sub></li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE3 : 24,471,911 tCO<sub>2</sub> 目標の対象セクター : 1,4-7,11,12</li> </ul>

# 株式会社ベネッセコーポレーション

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 砂漠化の進行や集中豪雨の多発などによる森林減少で木を原材料とする紙の調達に重大な変化が生じる可能性がある。これに対し、入札時期を統一し、環境負荷の少ない年間の契約紙を決めて製紙会社と価格交渉を行い、その中から使用する紙を決定している。また製紙業界の動向については、今後数年間の将来予測情報を把握している。また、紙を使った製品を減らし、デジタル製品への移行を数年単位で順次進めている。</li> <li>● 紙媒体の教材のデジタル製品化、WEBマーケティングやSNSを使った新しいマーケティング手法を開発し、従来のダイレクトメールやTVCMとの組み合わせをより効果的に行うことで、紙の使用を抑えた営業活動を進行するとともに積極的に環境に配慮した企業としてのイメージの醸成に努めている。</li> </ul>
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境を経営の重要課題の一つとして位置づけ、組織を取り巻く環境変化を捉えてS W O T 分析とマテリアリティ分析を行って経営の中で気候変動のリスク及び機会を位置づけるため、中長期CO2削減目標の策定を計画。この目標が2度目標の水準に整合すると表明できるように、SBTの認定を受けることを目指している。</li> <li>● SBT認定により、ステークホルダーや投資家からの要請に応えることを示し、ブランド価値向上につながることを期待している。</li> </ul>

# 株式会社ベネッセコーポレーション

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"><li>● 環境推進事務局が作成するマネジメントレビューを代表取締役社長へ報告を行い、次年度方針の指示を受けている。当社では気候変動対応として中長期のCO2削減目標を社内目標として設定しており、2016年度には、パリ協定の影響を受けて、より厳しい目標を設定した。 具体的には、2030年度に20%削減から31%削減、2050年度に50%削減から55%削減へと目標を変更した。それをSBTの目標とした。</li></ul>
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● Scope3の削減目標の達成のために、環境負荷の少ない材料調達や輸送時の環境負荷削減などサプライヤーへの働きかけ・協働を更に強化していくことが必要。</li></ul>